

当 初 予 算

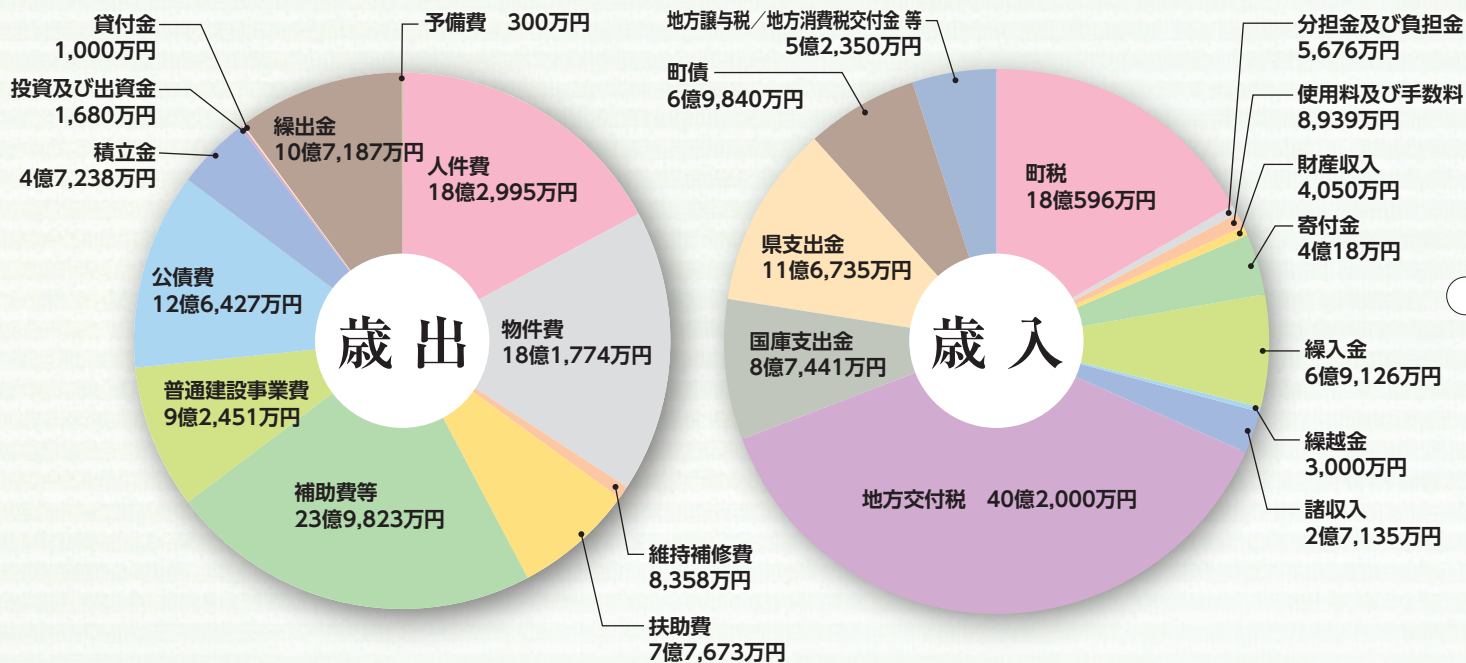
若狭町 令和4年度

一般会計

106億6,906万円

[数値について]
※広報では、万円単位で表示している関係上、端数が一致しない場合があります。

■性質別内訳



■行政分野別内訳

分 野	予 算 額	伸び率
議 会 費	9,309万円	△5.7%
総 務 費	21億9,109万円	△15.4%
民 生 費	24億1,369万円	2.9%
衛 生 費	13億6,899万円	5.2%
労 働 費	1,984万円	△11.6%
農林水産業費	7億7,002万円	△10.8%
商 工 費	5億2,937万円	20.5%
土 木 費	7億9,602万円	12.2%
消 防 費	3億9,551万円	△5.2%
教 育 費	8億2,417万円	△3.0%
公 債 費	12億6,427万円	△2.4%
予 備 費	300万円	0.0%

特別会計 53億169万円

分 野	予 算 額	伸び率
国民健康保険特別会計	17億7,916万円	△2.3%
後期高齢者医療特別会計	2億4,159万円	14.4%
直営診療所特別会計	8,678万円	△0.5%
介護保険特別会計	19億8,514万円	△1.1%
農業者労働災害共済事業特別会計	133万円	△17.4%
農業集落排水処理事業特別会計	4億2,643万円	5.8%
漁業集落排水処理事業特別会計	5,247万円	17.8%
公共下水道事業特別会計	5億8,595万円	4.0%
町営住宅等特別会計	3,387万円	0.9%
土地開発事業特別会計	1億897万円	24.4%

企業会計 19億2,952万円

分 野	予 算 額	伸び率
水道事業会計	13億3,740万円	344.8
工業用水道事業会計	3,708万円	△7.7%
上中診療所事業会計	5億5,504万円	2.6%



ことばの説明

特別会計

国民健康保険事業や下水道事業のように、保険料や使用料などの収入で運営していく事業について、その事業にかかるお金の流れをわかりやすくするために設ける、一般会計とは別の会計のことです。

令和4年度の当初予算が決まりました。
一般会計は106億6,906万円で、
前年度（6月補正後）に比べ2.4%の減額となっています。
また、特別会計は53億169万円、
企業会計は19億2,952万円を計上しています。

解説

町税などの自主財源に乏しく、歳入の多くを地方交付税や国県支出金に依存しています。
今後も歳入規模に見合った歳出を念頭に、ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据えた持続可能な健全な財政運営を目指します。



財政用語解説！ 歳出項目の性質別内訳について

人件費

職員給与や議員・非常勤報酬などの経費



物件費

旅費、需用費、委託料、備品購入費などの消費的性質をもつ経費

維持補修費

道路や公共施設などの維持補修のための経費



扶助費

社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障害者・生活困窮者などに対する支援に要する経費

補助費等

町から一部事務組合や各種団体等に対して交付するもので、負担金、補助金、交付金などの経費

普通建設事業費

道路、学校などの公共施設の建設や、用地取得等に要する経費

公債費

町の借金である地方債の元金と利子を支払う経費

積立金

財政運営を計画的にするための基金の積立に要する経費

投資及び出資金

公益上必要となる株式の取得や、出資金の経費

貸付金

福祉増進や地域振興のためのお金の貸付を行うための経費

繰出金

一般会計から特別会計、企業会計の間で、相互に支出する経費

ご紹介！ 令和4年度当初予算の主な事業

協働のまちづくり推進事業

15,262千円

【SDGs 地域づくり交付金】
時代に応じた持続可能な地域に向けて、地域の課題解決及び特性を磨き取り組みを支援します。

【ほっと安心できる地域づくり事業】
集落内の危険個所の改善や道路保全等に対する原材料の支給、集落活動の共同化を支援します。

若狭町消費応援キャンペーン事業

26,000千円

小売・飲食・サービス業の町内店舗の業績回復の一端を担うことを目的に、県と連携し電子クーポンを発行するキャンペーンを実施することで、町民等の消費喚起及びDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進します。

交通安全施設整備事業

12,126千円

防犯灯、カーブミラー等交通安全施設の適正な維持管理を行います。

- 町管理 防犯灯LED化工事



若狭の森づくり事業

8,062千円

森林環境譲与税を活用した森林整備や森林に対する普及啓発活動に取り組むことで、森林の健全化や災害に強いまちづくりを目指します。



公民館 公衆無線LAN環境整備事業

3,447千円

生涯学習の場面においてもICTの利活用が進むことにより効果的な学びに繋がることから、公衆無線LAN(Wi-Fi)環境を整備します。



舗装改良事業

45,000千円

主要町道は交通量が多く、特に舗装の損傷が著しいため、計画的に修繕を実施し、安全性と走行性の向上を図ります。

河川維持管理事業

52,430千円

町が管理する河川の浚渫や修繕を計画的に実施し、災害時の氾濫や周辺の浸水被害の軽減を図ります。

音声告知放送システム整備事業

166,730千円

上中地域の音声告知システムをFM型の音声告知端末に更新します。

子ども医療費助成事業

44,357千円

令和4年8月より、子どもに係る医療費助成の対象に16歳～18歳(高校生等)を追加します。

